

請願

市民の財産・憩いの場を奪わないで

福山駅北口広場整備

福山市は、市所有の福山駅北口広場をJR西日本所有の駅南側の土地と等価交換し、北口広場にJRが6階建てのホテルなどを建設する整備事業を進めています。

そして、北口広場にあるバス乗降場を移設するため、福山城東側緑地公園を解体する計画です。

日本共産党市議団は整備事業について、福山城の景観を損ない、広場の防災上の役割を阻害するとして、拙速に進めるべきではないと反対してきました。

市民からも、計画を再考し、広場や緑地公園を現状のまま残すよう求める請願が3471筆の署名とともに3月議会に提出されました。

公園をなくさないで

ところが、市はバス乗降場の移設工事費として8200万円を今年度予算に計上し、計画を強行しようとしています。

緑地公園は、城の石垣と緑

が美しく、憩いの場として親しまれる市民の財産です。

5月15日に初めて行われた説明会では、地元町内会の約8割の世帯が参加。景観や騒音、交通状況の悪化について懸念の声が上がりました。

住民に説明する前に計画を進めるあり方は、あまりにも住民を軽視しています。

大企業の利益でなく市民のために

5月28日、計画の撤回を求める請願が3月議会に続いて提出されました。署名は合計で7106筆に上ります。

請願を提出した「福山駅北口広場を守る会」代表の廣中



請願を読み上げる廣中隆志代表と同席した党市議員

隆志氏は「JRという民間企業の利益のための計画になっている」と訴え、「請願をどのように扱ったか返答してほしい」と議会に求めました。

日本共産党市議団が紹介議員となり、みよし剛史市議が6月1日の本会議で請願の可決を求めて趣旨説明をしました。

今後、12日の建設水道委員会で審議されます。

日本共産党市議団は、一般質問で取り上げる予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

国保税 1001円引き下げへ

28日の国保運営協議会で、今年度の国保税を1人平均年額1001円引き下げるとの方針が示されました。

国保税の引き下げは、市民から過去3年間で5回の請願が提出されるなど、切実な要求です。日本共産党市議団も長年求め続けてきました。

今回の引き下げは、市民の運動と議会論戦の成果ですが、これまで3年連続で合計6257円も増税してきた中で、千円程度の引き下げでは不十分です。

福山市の国保会計は、毎年

黒字で昨年度の歳入歳出引額は4億円余、基金残高は14億円余に上る見込です。

協議会委員の高木たけし市議は、黒字分や基金を使つてさらに引き下げよう求めました。

子どもの均等割 1人めから減免

福山市は、所得の低い法定軽減世帯の子ども2人めからの均等割課税を2割軽減していますが、コロナ禍に配慮して今年度は1人めから軽減する方針です。

子どもが増えるほど負担

が増える均等割は、少子化対策に逆行するものです。

廃止を求めてきた日本共産党の要求が前進しましたが、単年度のみで、対象も軽減割合も依然として少なく、さらなる拡充が必要です。

◇ ◇

「新型コロナウイルスの影響で収入が減り、国保税の納付ができないとの声が多い」と福山市も認めており、抜本的な支援に取り組むべきです。

日本共産党市議団は、国保税の負担軽減に引き続き全力を尽くします。

「協力支援金」の申請6月8日まで延長

県の要請に応じて4月22日から5月6日の間、休業や短縮営業した施設や飲食店に、「広島県感染拡大防止協力支援金」が支給されます。

申請期間が6月8日まで延長されました。郵送や

メールで受け付けています。問い合わせ

広島県商工労働局 協力支援金センター

TEL 082-513-2828

午前9時～午後5時まで (土日祝日対応)

日本共産党

議員団ニュース

発行 日本共産党福山市議会議員団 福山市津之郷町津之郷 970-1



高木たけし ①084-972-6830



河村ひろ子 ①084-965-6049



みよし剛史 ①090-1182-3973